

登録コード:MH267300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	医療システムとマネージメント【22M以降】 Management of Medical System			
担当教員	山内 一由			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	検査技術科学専攻/3年		後期	金曜・3 時限
単位数、講義室	2 単位	保健学科 2 2 2 講義室		遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH22カリ・保健			
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		医療情勢と医療システムの概要、医療情報の重要性和倫理・管理についてを理解し、医療システムと臨床検査システムの概略、情報倫理と情報危機管理について説明できる。	
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。		臨床検査部門の管理・運営について理解し、臨床検査部門における各種管理業務について説明できる。	
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。		医療における臨床検査の役割と在り方について理解し、臨床検査部門における各種管理業務および各種チーム医療の必要な臨床検査技術について説明できる。	
	MH25カリ・保健・検査, MH23カリ・保健・検査			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		臨床検査および臨床検査に関連する保健・医療の幅広い知識を現在の医療情勢および医療システムにおける課題解決に向けて活用することができる。	
授業で学べる「テーマ」	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		現在の医療情勢および医療システムを俯瞰し課題を見極める力と課題解決に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	
	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	本授業は、医療情勢と医療システムの現状について理解を深め、医療における臨床検査の位置づけと役割、課題について学ぶ。特に、医療におけるクオリティマネージメント、セーフティマネジメント、リスクマネージメントについての理解を通して臨床検査部門の運営と管理に必要な基礎知識を習得する。加えて、グループワークでは、臨床検査の専門性を発揮しつつチーム医療を遂行していく重要性について理解を深めることを目的として、現在の医療システムにおける問題点を調査、把握し、臨床検査技師の立場からどのように課題解決を図っていくかを考究する。 本授業では、3年次前期に学んだ「臨床検査管理学」の知識を前提とし、4年次の臨床実習に必要な臨床検査管理学の応用力と実践力を習得する。 本授業は、担当教員の医療機関での臨床検査技師長としての実務経験を生かして講義を行います。			
授業計画	第1回(10月2日)日本の医療情勢と医療システム 第2回(10月9日)臨床検査技師のための情報科学概論 第3回(10月16日)情報の概念と情報収集・処理(情報の概念、情報の収集と情報処理,電子計算機) 第4回(10月23日)医療・臨床検査と情報システム(臨床検査情報システム,病院情報システム,医療情報システム),コンピューターネットワーク(ネットワークの構成,通信プロトコル,ネットワークのセキュリティ) 第5回(10月30日)医療情報倫理と医療情報危機管理(個人情報保護,情報の秘匿・暗号,情報の一時利用と二次利用) 第6回(11月6日)臨床検査部門の業務と各種管理,検査体制と業務内容,臨床検査部門の組織と運営,臨床検査部門の情報管理,検査の受付と報告 第7回(11月20日)臨床検査部門の人事管理と安全管理,臨床検査部門の機器管理と物品管理,臨床検査部門の財務管理 第8回(11月27日)中間試験 第9回(12月4日)病院検査室と衛生検査所(検診センター)の役割と業務,予防医学と衛生検査所・臨床検査室,予防医学と健康診断 第10回(12月11日)チーム医療とその重要性 第11回(12月18日)チーム医療とその重要性 第12回(12月25日)チーム医療とその重要性 第13回(1月8日)臨床検査室による診療支援業務,臨床検査技師による研究の重要性 第14回(1月14日木曜日*日程変更)グループワーク発表会 第15回(1月14日木曜日*日程変更)グループワーク発表会,授業アンケートの実施 第16回(1月29日)期末試験			
授業の進め方	本授業は、講義資料に基づいた講義を行うとともに、与えられたテーマに沿ってグループワークを行い、その結果をパワーポイントのスライドにまとめ、プレゼンテーションを行っていただきます。			

テキスト，教材，参考書	【教科書】検査総合管理学（高木康ほか，医歯薬出版） 【教材】講義資料
成績評価の方法	中間試験・期末試験，グループワークのプログレスシートの内容，グループワーク発表会の結果に基づいて，総合的に成績を評価します．総括的評価の配分は，中間試験を40%，期末試験を40%，グループワーク発表会のプレゼンテーション内容を20%とし，総計の60%以上を合格とします．中間試験は第8回（11月27日）に筆記試験として実施します．中間試験では，医療システムと臨床検査部門の運営と管理に必要な基礎知識についての理解度を確認します．期末試験は第16回（1月29日）に筆記試験として実施します．期末試験では，医療における臨床検査の役割，特にチーム医療に必要となる臨床検査技術についての理解度を確認します．
成績評価の基準	成績評価の判定基準は，下記の通りとする． 90-100点：秀 80-89点：優 70-79点：良 60-69点：可 なお，これらの採点の基準は，行動目標に関連した設問に対する選択式解答の正誤だけでなく，記述式解答における用語の適切さ，説明内容の範囲の広さや詳細さ，説明内容の論理的な妥当性等を指標とし，授業で説明した範囲における，最低限の解答内容であれば「水準にある」，やや詳細な解答内容であれば「やや上にある」，十分に詳細な解答内容であれば「かなり上にある」，授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学修した詳細な解答内容であれば「卓越している」と判定します．
事前事後学習の内容	【事前学習について】 事前に配布する講義資料に基づき予習と関連項目の復習をする． 【事後学習について】 講義資料と講義ノートに基づき復習をする． 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため，以下のような学習時間を必要とします． 授業時間30時間（2時間×15回）＋ 自己学習時間15時間（1時間×15回）＝ 45時間 * 以上の自己学習時間を考慮して，事前・事後学習に意欲的に取り組んでください．
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	主体的、能動的に日本の医療情勢と医療システムについて俯瞰して課題を見つけ出し、深く考究して欲しいと思います。 質問への対応：授業中および終了後にて受け付けるほか、E-mailでも受け付けます。 オフィスアワー：随時（要事前連絡） 山内 一由 yamauchi@shinshu-u.ac.jp